

## 国営かんがい排水事業「両総地区」の完成を求める意見書

農業生産基盤の基幹的な農業水利施設の更新整備等を進める国営かんがい排水事業は、国民の食の安全・安心の確保とともに食料自給率を向上させ国民生活を支える重要な施策である。

両総用水は、5郡14市町村の地域にまたがり、県内の農地面積の20%、約1万8千ヘクタールの農地を潤す農業用水であるが、施設の老朽化が顕著となり、施設の更新の必要性が強く叫ばれていたことから改修工事を実施してきたところである。

しかし、農林水産省直轄調査を経て、平成5年度に事業採択を受け、平成24年度事業完了予定であったものの、平成22年度の両総地区の整備費は大幅に削減され、早急に整備すべき多くの施行箇所を見送りせざるを得なく、先送りされた施設の老朽化に伴う悪化により、農業用水の通水にも支障をきたしかねない状況である。

平成22年3月に閣議決定された食料・農業・農村基本計画は、食料自給率50%の目標を掲げているが、農畜産物の生産の基となる農業用水の確保なくしては達成は困難であり、下記について強く要望する。

### 記

1. 国営かんがい排水事業「両総地区」の平成24年度事業完成可能な予算を確保すること
2. 食料自給率50%を目標とする農林水産省所管のかんがい排水事業費枠の大幅な増額をすること
3. 戸別所得補償制度が定着するために、地域が持続可能な農業を展開し安定取水でき、かつ地域に安心して配水できる農業用水を確保すること

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年6月23日

千葉県成田市議会